

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第14回  
長崎県代協

お客様をお守りすることの  
できる代理店を目指して

日本の最西端、周囲を海に囲まれ風光明媚な景色が魅力。島の数は日本一。

古くより海外交流の拠点として栄えてきた長崎県。その街で活動する一般社団法人長崎県損害保険代理業協会は、令和2年10月現在、正会員183店、長崎市中心部に事務局を置き活動しております。

新年度におきましては、コロナ禍における影響もあり6月に一度だけ理事会をリアル開催しました。その後は、日本全国がコロナ対策に苦慮する中、毎月一回Webによる理事会にシフトしました。今、代協として何ができるのかを話し合い、ようやくZoomによる有料版IDを取得し、今後会員に向けての情報発信を考えています。

その後は、日本全国が見えない中、代理店経営における様々な悩みを抱え奮闘する会員代理店のため、お役に立てるセミナーや勉強会を企画し情報発信していきたいと考えています。

今後は、コロナの終息が望めない中、代理店経営における様々な悩みを抱え奮闘する会員代理店として、各保険会社の支店長との意見交換懇談会を今年2月に開催しました。

代理店の観点からの考え方、それに対する保険会社の代理店に対する考え方、思いを語り合いました。大変有意義な時間で地方版の活研研みたいな感じで



オープンセミナーのもよう

した。今後も毎年続けていきます。  
令和2年1月24日、新春オープンセミナーを2部構成にて開催しました。  
第一部は、サイバー犯罪の現状と対策として、長崎県警本部生活安全部犯罪対策課より講師をお招きし、講義いただき、改めてサイバー犯罪に対する認識を新たにしました。  
第二部は、長崎県代協オリエンテーションとして「日本代協アカデミーチャンネル、代理店賠償の重要性・必要性」のお話をさせていただきました。  
今後の活動としては、自然災害が毎年のように日本全国に被害をもたらしている現状、お客様に寄り添うため、保険代理店としてのBCP策定が大変重要であり、そのためのセミナーや勉強会を企画し情報発信していきたいと考えています。  
コロナ禍における募集環境の大きな変化に対応できるWebオンライン面談の構築のためのセミナーを全国代協会員による取り組み事例、成功事例等、有意義な情報発信に努めていくことを新たに考えております。  
(長崎県代協会長 横田 清孝)